



理事長 山口 浩利

ご挨拶

30年4ヶ月に及ぶ平成時代が終り5月1日に新たな令和元年を迎えました。

10連休の真ただ中からいきなり新元号の第1日が始まるという異例のスタートになりましたが、あまり違和感を覚えないのは嘗て高度成長期に企業戦士と呼ばれた日本人も、世代替わりで欧米並みに長めの休日を取ることに抵抗感がない社会に、変わりつつある証しとして喜ぶべきでしょうか。

他方、インフラ関連の保守サービス事業は別として、この間休日なしで各種サービス業に携わる多くの人達への感謝の気持ちを忘れず、期間中の多少のサービス低下には目をつぶる寛大さでありたいと思う次第です。

1. 平成31年3月末（NPOクラブの第17期）の活動の実績はお陰様で内容的にも規模的にも期初の計画をやや上回るペースで順調に推移致しました。

1-1 省庁、自治体、県中央会、商工会、金融機関、企画企業等の皆様からの委託（直接又は間接の契約）を中心とした収益事業は主として中小・小規模企業の販路開拓支援であり、企業の事前訪問ヒヤリングによるブラッシュアップのプロセスを経て、展示会若しくは直接訪問してパイヤー企業とのマッチングをはかる仕組みですが、今期の支援対象企業の総数としては前期の25%増の970社となり、又受託総額としては前期の約15%増で1億円の大台を初めて超えました。大変多忙な一年となりましたが、関西地区在の会員（発足5年目の4月10日に関西グループ事務所を開設）と、今年度新入の会員20名余の加勢も得て受託事業は滞りなく完了することが出来ました。御支援戴いた皆様に感謝し改めて御礼を申し上げます。各案件の内容や推移につきましては後出の案件毎のチーム報告集をご参照下されば幸甚です。

なお、販路開拓支援活動に於いても面談ヒヤリング時には企業が抱える経営課題についての相談にも預かる機会がありますが、案件の目的として販路開拓に先立ちその前に具体的な課題の解決をはかるとか、経営計画や営業戦略のアドバイスを優先させる案件も逐次増えております。

1-2. 私共NPOクラブが非営利事業と位置付ける活動として、大自然災害の被災地復興支援、事例としまして、見舞金の寄付、農水産品の販路紹介や地区振興への応援等、また、次世代育成支援の事例としては、NPOクラブの講師を学校や企業に派遣するセミナーやワークショップで会話の機会を拡げてきています。なお、NPOクラブ自身のポテンシャルの維持や向上のための勉強も継続していきまして、ヘルスケア、エネルギー産業、新素材、IoT/AI、等が進行中の研究会です。新しくは農産物/加工食品の輸出や中手企業経営強化の研究会もスタートします。

2. 企業を取り巻く環境としては世界経済の先行きの不透明さや不安を助長させている米中の先端技術覇権をめぐる、果てしなき様相の貿易戦争の影響が製造業にも徐々に顕在化してきているなか、企業経営のかじ取りをどうすべきか中小・小規模企業の経営者にとっても事業の見通しが非常に困難な局面にあります。 関連市場の情報やその分析評価を注視しながら機会を捉えて軌道修正を実行する勘と決断力が要求されるのだらうと思いますが、その為には日常に自社のSWOT分析の変化を診ながら、強みを活かすチャンスは逃さず実行とか、弱みを補完して体質を替えていく工夫等が肝要かと思います。 また、例えば、直ぐに役立つ簡易なITソフトの導入や、業務プロセス（工程）の再評価、事業計画は柔軟性を以て見直す等々の自助努力が要求されます。

企業毎に事情は千差万別でしょうが、若しご要望であれば、私共の経験と新たな学習の成果も加えて、得意とする複眼のチームワークで可能な範疇でお手伝いが出来れば有り難いと考えております。

以上

TOPICS

1. 平成30年度地域中核企業創出・支援事業
1. 1 北海道経済産業局委託事業
1. 2 東北経済産業局委託事業
1. 3 関東経済産業局委託事業
1. 4 中部経済産業局委託事業
1. 5 近畿経済産業局委託事業
1. 6 中国経済産業局委託事業
1. 7 四国経済産業局委託事業

支援実績及び活動状況

1. ≪平成30年度地域中核企業創出・支援事業≫

「平成30年度地域中核企業創出・支援事業」は平成29年7月の地域未来投資促進法の施行に伴い、平成29年度に比べても採択件数が増加（採択件数は経済産業省 関係で215件から245件）し、その影響で1件当たりの委託金額も平成28年度に比べると半分以上と大幅に削減されました。

この中で、当NPOクラブは平成30年度直接公募案件が3件、再委託や専門家として参加した案件が7件と、昨年並みの件数を確保することができました。事業は当NPOクラブが得意とするいずれもものづくり企業を対象としたもので、延べ100人以上の会員が参加し、それぞれの事業の目的を達成しました。

ハンズオン事業において関東経済産業局、中国経済産業局からそれぞれ1件継続して受託しました。また本年は新たに近畿経済産業局からIoT関連で直接受託しました。

一方、北海道、東北、中部、中国および四国の各経済産業局のネットワーク事業において、当NPOクラブは各プロジェクトの事業管理会社から委託または外注として業務を受託し、それぞれコーディネーター、専門家として参加しました。

特に平成30年度は近畿経済産業局からハンズオン事業で直接受託できたこと、および中部経済産業局の事業に参画することができたことは大きな動きと考えています。

一方、平成31年3月に公募された「平成31年度地域中核企業ローカルイノベーション事業」は3月25日に公募締め切りとなりました。本年度からハンズオン事業が無くなり、ネ

ットワーク事業一本になったため、当NPOクラブでは直接受託を差し控える方向で対応する考えです。

以下に「平成30年度経済産業省 地域中核企業創出支・支援事業」に関する当NPOクラブの受託、参画状況を簡単に記します。（内容詳細は、支援実績及び活動状況の項に掲載。）

1.1 北海道経済産業局委託事業

同局でのネットワーク事業では、(公財)北海道科学技術総合振興センターから「北海道医療機器関連産業ネットワーク事業」にコーディネーターとして受託し、展示会での販路開拓や、マッチング、また病院での現場ニーズに対する参加企業に対するアドバイをしました。（内容詳細は、支援実績及び活動状況の項に掲載。）

1.2 東北経済産業局委託事業

同局のネットワーク事業ではドゥリサーチ研究所より「東北 地域医工連携事業化ネットワーク事業」においてコーディネーターまたは専門家として、事業計画立案、販路開拓などの支援をしました。又株式会社帝国データバンクから「東北・北海道・関東地域連携による航空機産業分野ネットワーク基盤の形成・促進事業」に専門家として展示会での企業支援をしました。（内容詳細は、支援実績及び活動状況の項に掲載。）

1.3 関東経済産業局委託事業

同局のハンズオン事業では「アルミ・鉄鋳物の新規市場開拓とグループ連携による一貫生産体制の構築」を受託し、展示会支援、マッチング支援をしました。（内容詳細は、支援実績及び活動状況の項に掲載。）

1.4 中部経済産業局委託事業

同局のネットワーク事業では公益財団法人三重県産業支援センターより「平成30年度ヘルスケア産業広域的支援プロジェクト」においてマッチング支援業務を受託いたしました。同局関係では2013年、14年のサポイン事業以来の受託で、9月12～14日でのメディカルジャパン(幕張メッセ)展示会における支援対象企業へのマッチング支援を4名のヘルスケア研究会メンバーが行いました。

1.5 近畿経済産業局委託事業

同局のハンズオン事業では「”中小製造業における切削加工プロセスのIoTソリューションビジネス”構築支援事業」を受託し、展示会支援、販路開拓支援を実施しました。（内容詳細は、支援実績及び活動状況の項に掲載。）

1.6 中国経済産業局委託事業

同局のハンズオン事業として第3年目の平成30年度も「健康保持・福祉・医療分野向け筋力アシスト装具事業の育成・強化」を受託しました。ここでは産業分野別の製品展開にめどをつけるとともに、福祉・医療分野における製品についても目途をつけることができました。（内容詳細は、支援実績及び活動状況の項に掲載。）

また、ネットワーク事業では一般財団法人ニューメディア開発協会から「IoT・AI活用に

よる「渦電流式非接触振動計（コア技術）」を活用したソリューションの強化&新市場開拓支援」事業に関し、販路開拓の委託を受けました。

1.7 四国経済産業局

同局のネットワーク事業では一般財団法人四国産業・技術振興センターより2件の事業に関し市場調査、事業計画、販路開拓などの支援を受託しました。

「高機能素材（セルロースナノファイバー（CNF）、炭素繊維等）活用産業創出・支援事業」及び「次世代燃料・電池システム創出支援事業」です。